

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（3月定例会）会議録
開催日時	平成25年3月15日（金曜日）午後2時から4時15分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、齋藤副議長、稲葉委員、内田委員、川崎委員、操野委員、濱崎委員、原委員、矢野委員 （欠席）倉島委員、白木委員、本領委員、山田委員 事務局：神田主査
議題	(1) 平成24年度社会教育関係団体補助金について (2) 社会教育施策の今後のあり方について (3) 報告 その他 1 「社会教育施策の今後のあり方について（提言骨子）」の提出について 2 都市社連協理事会（2月21日）報告 3 教育計画策定懇談会（1月28日・2月21日）報告 4 都市社連協総会（4月20日）の参加について
配布資料	資料1 平成24年度社会教育関係団体補助金交付確定額（案） 資料2 社会教育施策の今後のあり方について（提言骨子） 資料3 平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会2回理事会会議要点録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>・第1回臨時会の会議録2ヶ所訂正後、承認する。</p> <p>・平成25年2月定例会議の会議録を承認する。</p> <p>(1) 平成24年度社会教育関係団体補助金について</p> <p>事務局より、配布資料1「平成24年度社会教育関係団体補助金の確定額（案）」に基づいて、1団体（西東京子ども・文化フェスティバル実行委員会）の補助金額の確定について説明。その他資料として、提出された報告書一式について回覧。</p> <p>・補助対象事業経費の決算額が予算額を下回ったため、交付決定額を下回る確定額になった。地域の子どもたちも、この事業を楽しみにして参加しており、青少年対象の地域活動として貢献していると思われる。</p> <p>○委員： 今回初めて、実行委員会に対する補助金が交付され、良かったと思う。</p> <p>○議長： 平成24年度社会教育関係団体補助金確定額について、了承してよろしいか。</p> <p>○全委員： 了承する。</p> <p>(2) 社会教育施策の今後のあり方について 研修会の感想について</p> <p>○議長：</p>	

2月の研修会には、公民館運営審議会委員の方にも参加していただいたが、感想をお願いします。

○委員：

公民館運営審議会委員の方は、社会教育委員が何をやっているかわからないという感想を持たれたようだ。公民館運営審議会委員と社会教育委員の交流があればよかったと思う。

○議長：

2月の研修会の後、公民館の市民企画講座に参加した。東日本大震災の際、西東京市の公民館で帰宅困難者の受け入れを行うなど、いろいろな面で公民館の存在意義が見直されてきているという話があった。企画された市民の方も、公民館は、市民が自由に学べる最後の砦なので、みんなで守っていきましょうと話された。また、公民館運営審議会委員の方も参加されており、話をする機会を持った。これまで、交流の場を作ったことがなかったことを反省し、今後もいろいろとつながっていきましょうという話をした。公民館運営審議会委員の方たちは、西東京市の公民館が全国的にもトップレベルの活動をしているという自負を持って熱心に活動されているが、一方では、公民館有料化の議論も含めて公民館職員の削減など合理化がすすめられていく事への危機感を持たれていると思う。

○委員：

公民館運営審議会を傍聴したことがあるが、公民館の事業計画について熱心に議論をされていると思う。

○委員：

公民館運営審議会委員や図書館協議会委員など社会教育に関わって活動している委員は、それぞれの立場でいろいろな思いを持っていると思う。

○委員：

社会教育委員と同じように社会教育行政に係る委員として、公民館運営審議会委員や図書館協議会委員と交流できたら良いと思う。

○委員：

委員同士、縦割りではなくいろいろな立場でお互い議論が出来るような仲になることが必要だろう。そのためには普段からの交流が大切だと思う。

○委員：

今後の社会教育施策を考えていく場合には、公民館や図書館が目指している方向性のすり合わせをする必要があると思う。

○委員：

公民館を社会教育の核として位置付けられる提言内容にできれば良いと思う。

○委員：

人と人、地域と地域をつなぐ、時代にあった開かれた公民館のあり方の検討も必要だろう。地域の人たちで企画し、市内のいろいろな施設を借りて、食育や健康、防犯、介

護など、地域で要望の多いテーマの出前講座を継続的にやりたいと考えている。公民館の利用は、初めてだと団体登録手続きが必要であり、利用団体も多くなかなか借りるのが難しい感じがした。また、講座内容や講師も、これが良かったという情報があれば選びやすいが、そういった情報もなかなかスムーズには得られない状況である。

○事務局：

団体との関係では、公民館を利用していない社会教育活動団体を、今後どう支援していくかということも今後の課題だろう。

○委員：

公民館だけではなく、コミュニティーセンターなども教育の場としての側面を持っていると考えられるのではないかと。

○委員：

公民館や図書館の個別の動きを組織的に機能させていく事が必要で、それが今後の施策の再整理につながると思う。

議長：

他に研修会についての感想はありますか。

○委員：

講師が、社会教育主事のあり方を考え、活用すべきだといわれていたことが印象的だった。やはり、組織と人のあり方を考えていく必要があると思った。今後の施策を考えていく上で一つの方向性を示していただいたように思う。

○委員：

「つながりと個性尊重」という話が印象に残っている。つながりが再認識されてはいるが、伝統的な共同体へは戻れない。その中で求められるのは、個性を重視しながらゆるやかにつながっていく社会ではないか。つながるためには何が必要かを今後考えていく事になるのだと思う。

○委員：

社会教育と学校教育、生涯学習などの整理はよくわかった。

○委員：

わかりやすい内容だった。

○委員：

基本的な内容も、再度学ぶことでまた新たな刺激を受けることができ、有意義だったと思う。

「はじめに」の部分について

○委員：

ここに書かれている内容を「めざすもの」に入れたらどうだろうか。また、最終段落の部分の内容は、「当面の課題」へ入れても良いのではないかと。

○事務局：

ここでは、絞り込んで提言をまとめたという趣旨を書き込めればよいので、生涯学習の推進に関する内容は、提言3の「組織体制の見直し」の中に入れてもいいかと思う。

※「当面の課題」の部分について

○委員：

「社会教育施策はおおむね仕組みが出来ているが、今後は幅の広い社会教育の各分野でさらなる充実が望まれる」というような表現にしたらどうだろうか。

○委員：

社会福祉協議会の地域活動については、別な所で触れた方が良いのではないか。

○議長：

項目だしをしている感じなので、どこで触れるかも含め、文章表現などは今後また精査したい。

【提言2】地域生涯学習事業の充実について

○議長：

地域生涯学習事業の見直しについて、いかがですか。

○委員：

地域生涯学習事業は、停滞ではなく、半数以上で実施されているが、各学校間で実施状況に差がでており、個々の色合いに欠ける状況だと思う。

○委員：

人づくりやまちづくりの拠点としての公民館事業の充実、青少年の居場所づくり、高齢者の生きがいや交流につながる学習機会の確保といった施策の流れがあって、公民館と地域生涯学習事業との連携も出てくると思う。生涯学習推進という施策の方向性の中で、組織や体制も見直して、地域生涯学習事業を充実させていく事になるのだと思う。

※【提言2】地域人材の育成と活用について

○委員：

ボランティアについては、以前この会議から出された「全員参加の地域づくりを目指して（提言）」の内容を参考にしたら良いと思う。小学校を拠点に活動の場を整備し、情報提供に努め、活動の意義や魅力を浸透させるという提言内容を、今回の提言では具体的な施策にしていけばいいのではないか。

委員：

小学校でのボランティア活動は、清掃活動が多い。ボランティア活動の意義を伝えるのはむずかしい。長い目で見て小中高と一貫してやっていかないと定着しないのではないかと思う。子ども自らがボランティア活動に参加することは少ないので、大人が子どもを連れて参加するのが良いと思う。活動の面白さや気持ちよさを体験できる場づくりが大切だろう。

○委員：

ボランティアも低学年から触れることが大切だろう。

○委員：

育成会で事業を企画する時、実行委員会形式をとって、青少年がボランティア的な関わりが出来るようにしている。活動した子どもが中学校に入ってもまた、ボランティアとして参加してくれるとうれしい。小学生の時からそういった体験の場を作ることが大切だと思う。事業によっては、中学校の部活単位での参加もあり、100名くらい参加してくれている。PTAに呼びかけると、手伝ってくれる保護者も多く、大人の参加が子どもの参加にも影響をしていると思う。

○委員：

西東京市のボランティア活動はこういう所で求められているといったことを具体的にしていけば良いと思う。

○委員：

求められているボランティアの内容を示せば、参加する大人も増えるのではないかな。

○委員：

地域のおまつりでも、学校の方針や協力もあるのか、中学生のボランティアが良く参加してくれている。

○委員：

近くの駅を花いっぱい駅にしたいと思うが、どこに協力を求めて良いかわからない。

○委員：

行政でも個々には情報を集めているようだが、そういった情報を一本化した窓口が出来れば良いと思う。

○委員：

ボランティアセンターに、ボランティアを受ける側とやる側両方に対してコーディネーターがいると良い。

○委員：

市民協働推進センターは、委託運営なので、委託先が変わることもあり、なかなかコーディネーターが育たないと思う。

○委員：

福祉のボランティアをやる人は福祉を知らない困るし、コーディネーターも紹介する人を知らない困るだろう。ボランティア全体をコーディネートする仕組み作りも必要だろう。

※【提言2】文化財の活用について

○委員：

郷土資料室は、学校の宿題を調べにくるなど子どもたちの利用が多いようだ。学校教育とつながっていくと良いと思う。

○事務局：

利用としては、社会科見学や地域の文化財サークルで見学などもある。

○委員：

西東京市として郷土資料室を、どう位置付けるかだろう。郷土資料室をどう位置付けるかによって活用の方法が決まると思う。文化財を組織の中にしっかり位置付けて取り組めば、活用もされていくと思う。文化財資料を整えれば、学校教育での活用ができ、生涯学習の中でも活用することができる。

○委員：

位置づけと活用がしっかりできれば、ボランティアの活用も進むだろう。

○委員：

民具の収集なども大切だろう。

○事務局：

資料の収集には、収蔵スペースの確保が必要となる。

○委員：

複合施設の資料室ではなく、市としてしっかりした資料館が欲しい。

※今後の進め方について

○議長：

提言に盛り込んで欲しい内容や意見を、3月29日（金曜日）までにレポートにして事務局に提出して頂きたい。文章化されていなくても箇条書きのかたちでも良い。4月定例会の前に、臨時会を開いて皆さんから出された内容を検討したいと思う。

・今後の予定

臨時会：4月5日（金曜日） 午前10時から正午

定例会：4月19日（金曜日） 午後2時から4時

(3) その他

1 「社会教育施策の今後のあり方について（提言骨子）」の提出について

議長：

正副議長で最終整えをし、資料2「社会教育施策の今後のあり方について（提言骨子）」のとおり、事務局に提出した。今後、この骨子案に添って、意見交換をし提言としてまとめていきたいと思う。

2 都市社連協理事会（2月21日）報告

※副議長より、資料3「平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会2回理事会会議要点録」に添って、報告。

3 教育計画策定懇談会（1月28日・2月21日）報告

○議長：

中学生、公民館・図書館、児童館・学童クラブ、スキップ教室（適応指導教室）、西東京通級親の会（でこぼこ）、Nicomoルーム（不登校ひきこもり相談室）、子ども日本

語教室（NIMIC）などを対象に、職員や利用者などにヒアリング調査をした結果が報告された。社会教育委員の会議にも資料として配布してもらえるよう事務局に依頼をしている。計画の柱立てについては、次回以降検討することになっている。

4 都市社連協総会（4月20日）の参加について

○事務局：

今年度から、総会時の研修会はなくなった。マイクロバスの手配が出来たのでこもればホール前に11時30分に集合していただきたい。

- ・日時：平成25年4月20日（土曜日）午後1時～
- ・場所：稲城市中央文化センターホール
- ・参加予定：須永委員、齋藤委員、川崎委員、操野委員、濱崎委員、倉島委員、矢野委員

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（3月定例会）は終了する。

※次回会議 臨時会：平成25年4月5日（金曜日）午前10時から
定例会：平成25年4月19日（金曜日）午後2時から